

2026年2月18日

## 輸送動向について（2026年1月分）

## 1. 輸送概況

本年は、北日本地区を中心とした強い冬型の気圧配置に伴う雪害により東北・函館線や日本海縦貫線、上越線等を走行する多数の列車において、長期にわたる運休や大幅な遅れが生じ、輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、農産品・青果物が、天候不順に伴う生育不良に加え、雪害の影響により北海道地区の玉葱及び馬鈴薯が前年を下回ったほか、食料工業品は、一部顧客における出貨停滞等により清涼飲料水やビールを中心に減送となった。また、エコ関連物資は、中央新幹線建設工事に伴う発生土が減少したことにより前年を下回った。コンテナ全体では前年比 88.8%となった。

車扱は、石油が、ガソリン及び軽油が堅調な荷動きとなったほか、寒波に伴う全国的な気温の低下により暖房需要が増加したことで灯油や重油も増送となり、前年を上回った。車扱全体では前年比 105.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 94.6%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,303	1,468	88.8%	15,802	15,369	102.8%
車 扱	862	820	105.1%	6,810	6,925	98.3%
合 計	2,166	2,289	94.6%	22,613	22,294	101.4%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品 ・ 青 果 物	91	131	-39	69.8%
	化 学 工 業 品	117	123	-6	94.7%
	化 学 薬 品	87	92	-4	95.0%
	食 料 工 業 品	182	210	-28	86.6%
	紙 ・ パ ル プ	162	179	-17	90.4%
	他 工 業 品	94	97	-2	97.3%
	積 合 せ 貨 物	236	242	-5	97.7%
	自 動 車 部 品	66	61	4	107.4%
	家電・情報機器	24	29	-4	85.7%
	エコ関連物資	27	55	-27	49.5%
	そ の 他	211	244	-32	86.6%
車 扱	コ ン テ ナ 計	1,303	1,468	-164	88.8%
	石 油	613	574	38	106.7%
	セメント・石灰石	140	134	6	104.7%
	車 両	82	77	5	107.1%
	そ の 他	26	35	-8	75.7%
合 計	車 扱 計	862	820	41	105.1%
	合 計	2,166	2,289	-122	94.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)